



近年、実験データのデジタル化や解析データの大規模化が加速し、研究データは多様化・高度化するとともに、管理の複雑性も増しています。欧米では、電子実験ノート（ELN）をはじめとするデジタル研究支援ツールの導入が広がっており、データ管理の効率化や研究プロセス改善に取り組む動きが見られます。一方、日本では導入検討が進みつつあるものの、研究現場に応じた最適な活用方法や定着のための工夫について、具体的な情報が求められています。

本セミナーでは、BIOVIAソリューションを提供する株式会社ウェブフロント様より講師をお招きし、研究現場におけるデジタル化の現状と課題、ならびに電子実験ノート（ELN）を中心とした研究支援デジタルツールの概要をご紹介します。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：2026年2月18日(水) 16:00-17:00

開催形態：オンライン（Zoom）

講師：磯島 知也, 佐橋 一裕, 塩谷 明美, 河野 友美
（株式会社ウェブフロント）

言語：日本語

申込方法：以下のURLからお申込みください。
<https://forms.gle/9YuWDmqGdHPt7ZzQ8>



申込

締切：2026年2月17日(火) 13:00

※締め切り後、Zoom開催情報及びアンケートフォームへのリンクを申込者全員にメールでお知らせします。

備考：本セミナーは情報共有を目的としたものであり、今回のセミナーの中で紹介するツールは、遺伝情報解析室で共用はしていません。

詳細：株式会社ウェブフロントウェブサイト内お知らせ

<https://www.wavefrontsales.com/20260218-biovia-seminar/>

